

2021年度第1回 職業実践専門課程
学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会議事録

- 日時：2021年12月10日(金) 10:30～12:00
- 形式：Zoomによるリモート会議
- 出席委員：糸井委員、萩原委員、小林委員、河野委員、岩光委員、植田委員(欠席)、
奥田委員(欠席)、志貴委員(欠席)
- 学校関係者：森、岩崎、大橋、加藤、豊田、杵山、井上

【議題】

- 1) 学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会委員について

- 2) 学校関係者評価委員会
 - ◆ 2021年度(2021年4月～2021年11月)の事業報告
 - A) 学校法人の概要

 - B) 事業の概要
 1. 学校を取り巻く環境
 2. コロナ禍における学校の対応及び取り組み
 3. 教育事業の主な取り組み
 4. 海外戦略等
 5. 高等教育就学支援の申請状況
 6. 就職状況
 7. 学生募集状況
 8. 中長期戦略の立案
 9. SDGs への取組

 - C) 財務諸表

- 3) 教育課程編成委員会
 - A) 2021年度学科別企業連携授業の報告
 - B) 教育課程の編成
 - C) 成績評価の基準
 - D) 資格検定等

1) 学校関係者評価委員会報告事項

【学校法人の概要】

2021年度の学科5学科

- * ファッション・クリエイター
- * スーパーデザイナー
- * ファッション・ビジネス
- * ブランドマネジメント
- * スタイリスト
- 今年度よりスタイリストマスター学科の廃止を報告。

【事業の概要】

主な取り組みと結果

- コロナ禍により、オンライン授業や動画アーカイブ等 ICT の活用を積極的に進め、ニューノーマルに対応した学習環境を整備。
- 各イベント・授業に関しても感染症対策を講じ進めたが、海外研修に関しては中止または延期となっている。
- 海外留学に関しては、コロナ禍で制限はある中、1年遅れで交換留学生として森上さん、教員研修として蓬萊さんがイタリアのポリモーダ校へ留学中。
- 海外研修の中止に伴い、ロンドン芸術大学常任講師のオレグ氏を招へいし、デザイン教員、スーパーデザイナー学科、ファッション・クリエイター学科の学生に対する特別講義を10月より開始。この講義はSD学科を中心に通常カリキュラムとして年間導入予定。
- 国内のコンテストが減少する中、装苑賞にファッション・クリエイター学科3年の高さんが佳作1位(準グランプリ)となった。
- 海外コンテストにおいては、ロンドンで行われた GRADUATE FASHION WEEK (GFW) のSDGs部門でスーパーデザイナー学科4年の夏さんが準グランプリ。
- 大連杯では、スーパーデザイナー学科4年の市川さんが金賞(グランプリ)。
- アジアファッションコレクションでは、市川さん、「DOKKA VIVID」(菅内さん、夏さん展開ブランド)がグランプリを受賞、2022年2月に開催されるニューヨークコレクションへの出場権を手にした。

学科別の取り組み

- スーパーデザイナー学科
- * 現役学生ブランド「DOKKA VIVID」が阪急うめだ本店でのサステナブル企画に出店。

- * 「TOMO KOIZUMI」の阪急うめだ本店でのポップアップイベント用にフリルの製作を受諾。小泉智貴氏による直接指導が行われた。
- ファッション・クリエイター学科
- * 東京ファッションテクノロジーラボ（TFL）と教育提携し、「3Dモデリストコース」を全国ファッション専門学校で始めて設置。
- * アトリエドール、アルカスインターナショナル、三山等の企業とコラボした商品が発売された。
- ファッション・ビジネス学科
- * アーバンリサーチ、ルクア、TAT等とのコラボ授業を実施。
- ブランドマネジメント学科
- * 「デジタル・AIのビジネス活用」をカリキュラムに導入し、河合拓氏による特別講義を実施。ニューロープ・酒井悟氏による授業を展開中。
- * 学生運営ショップ「FREPPII」を9月18日～12月19日までHEP FIVEでオープン。
- スタイリスト学科
- * ジャヴァコーポレーションとのコラボ企画を実施。
- * 「TOMO KOIZUMI」の二条城におけるコレクション発表にフィッターとして参加。

給付型の修学支援奨学金

- 全体の15パーセントに当たる117名の学生が利用しており、経済的理由による退学者が減少した。

就職状況

- コロナ禍の影響により、2019年度から見ると6掛けの求人数ではあるが、今年度の募集の中には、拘りのある専門型の小規模アパレル企業からの企画系専門職や独自の企画に取り組む縫製工場から縫製職のみならず企画職の募集が出て来ており、従来のNB展開企業、ODM/OEM企業の動きに不透明感がある中で新しい動きが出てきた。
- 販売職においても再募集の動きが活発になりつつあり、昨年に比べると明るい兆しが出てきている。

学生募集の状況

- 従来型オープンキャンパスと並行し、オンライン型の個別相談会を積極的に実施。

中長期計画

- リクルート社と1年半にわたって検討、策定し、4月からスタート。
- 「グローバル戦略」「DX教育の推進」「インキュベーション」に取り組むべき重点3テーマに設定し、各テーマに対し、具体的な課題をプロジェクト化し、推進する。

SDGs への取り組み

- DX が急速に進み、ますますボーダレスになる世界において、当校が育成すべき人材は、グローバルに物事を考えることができ、テクノロジーを自在に活用し、新しい価値を生み出せるクリエイティブな人材であると考えている。
- これを実現するために「グローバル戦略」「DX 教育の推進」を重点テーマに据え、教育に取り組む考え。
- 関西ファッション連合が主催する「KanFa SDGs AWARD 2020」で大阪文化服装学院が教育機関として唯一となるサポート賞を受賞。

2020 年度会計報告

- 令和 2 年(2020 年)度 自己評価報告書 P93～95 参照

2) 教育課程編成委員会報告事項

【2021 年度学科別企業連携授業の報告】

- 2021 年 7 月の委員会の時点では、連携授業数は 16 件だったが、現在 24 件と増加。特に産地とのコラボが増加。

【教育課程の編成】【成績評価の基準】【資格検定等】

- 令和 2 年(2020 年)度 自己評価報告書 P96～97 参照
- ファッション 3D モデリスト資格検定を、新たに来年度受験する予定。

3) 協議事項

3D モデリストコースについて

- 3D モデリストコースには企業も注目しており、今後、ファッション以外の大手商社に就職先の幅が広がればよいと考えている。また将来的には東南アジアにも広めていきたい。3D モデリストコースの第 1 期卒業生は 2023 年 3 月になる。
- また、3D モデリストコースとは別に、10 月より全在校生を対象とした「3D モデリスト特別ゼミ」を開講した。これにより、コースの学生以外でも、このスキルを習得する環境を整備。土曜日開催で半年コースなので、2022 年 3 月が最初の卒業生になる予定。企業視察もあり、現場の方には是非、2D との違いを見ていただきたい。

- 3DCAD の CLO をテスト運用している企業からは、2DCAD が 30 年前から普及した経緯もあり、3DCAD へのバトンタッチによって新しい人材が台頭するタイミングといえるのではないかという意見があった。

海外研修について

- ブランドマネージメント学科の NY 研修をはじめ、海外研修に関しては研修先の感染状況や国の方針に左右されるが、可能性を探りながら対応する考え。また実施できない場合の代替え措置については十分に考慮したい。

産学連携について

- Z 世代と言われる若い子は、呑み込みが早く、最新の技術などを早く吸収する力がある。DX、SDGs への取組みなどを小学校から習っているので、25 歳以上とは考え方が違い、グローバル思考が進んでいる。
今後、産地との取り組みにより、アナログ的な産地の物作りを残しながらもデジタルと融合させ、若い人たちが海外へ広め繋げるようなことも進めていきたい。
- 学校としての立場から言えば、産学連携とは企業の技術を学校に教えて頂くものと思っているが、是非これからは学校を利用し、企業ではなかなか手を出しにくい部分について実験的に活用して貰いたいと思っている。

スタイリストからの提案

- スタイリストの現場では、3DCAD が広まるとスタイリスト需要が無くなると言われてい
る。今後 3DCAD を使う上でスタイリストがどのような形で絡められるか、という事を
学校の授業で一緒に考えたい。デジタルの中にもスタイリストが必要な部分が有るの
か無いのか、そこを一緒に考えて取り組みたいと思う。
当校としては現在 3D モデリストコースはファッション・クリエイター学科だけである
が、今後、スタイリングに応用できるカリキュラムを検討する上で参考にしたい。

以上